

ES2

## 新型コロナウイルス感染症とその周辺 —コロナ禍で活躍する薬剤師を目指して—

きしだ なおき  
岸田 直樹

感染症コンサルタント/北海道科学大学薬学部客員教授



“インフォデミック”という言葉があるように、新型コロナウイルスに関する情報が氾濫しています。確かな情報なのか不確かな情報なのか、その情報判断能力も、求められるレベルはとても高いと感染症医として感じます。

とくに実際の現場を知らずに語ると、自称“感染症に詳しい”とされる先生方でも容易に見誤るとなってしまうのも無理はないと感じます。そんな新型コロナウイルス感染症ですが、本抄録を書いている今でも確かなこととしてさまざまなことが見えてきていることも間違いありません。

本講演では研修会開催時点での新型コロナウイルス感染症の臨床的特徴と感染対策の基本事項をまずは確認します。それを踏まえて求められるものを薬剤師の視点を中心に考えてみたいと思います。

正直、感染症専門医である自分自身も、その専門性としての無力感を感じます。現在活躍できているのは、臨床感染症というか感染対策や感染症疫学の側面、臨床感染症としての側面は大きくはありません。

そんな中、これからのコロナ流行を踏まえて、薬剤師、とくにかかりつけ薬剤師に求められるものが見えてきているように感じます。

その求められるものの多くは、実は“コロナだから”ではないものではないでしょうかという重要なポイントだと感じます。

コロナをきっかけに山積みの社会課題の解決の加速が特に医療の現場で求められています。コロナウイルス感染症の特徴を理解して、その変化を上手に伝える一人にみなさんがなっていていただくことがとても大きいと感じます。

### 略歴

北海道函館市出身  
1995年10月 国立東京工業大学理学部中退  
2002年3月 国立旭川医科大学医学部医学科卒業  
2005年3月 手稲溪仁会病院初期臨床研修修了  
2008年3月 手稲溪仁会病院総合内科フェロー修了  
手稲一ハワイ医学教育フェロー修了  
2010年3月 静岡県立静岡がんセンター 感染症科フェロー修了  
2010年4月 手稲溪仁会病院 総合内科・感染症科  
感染症科チーフ 兼 感染対策室室長  
2012年4月 旭川医科大学医学部非常勤講師  
2014年4月 一般社団法人 Sapporo Medical Academy 代表理事  
2017年4月 北海道薬科大学客員教授  
2018年3月 北海道大学大学院公衆衛生修士課程修了 (MPH: 人口学 / 感染症疫学: 西浦研)  
2018年4月 北海道科学大学薬学部客員教授 (臨床推論)  
北海道大学大学院社会医学博士課程 (PhD: 数理モデル)  
2020年5月 札幌市危機管理対策室 参与 (感染症対策担当)

### 資格・役職

公衆衛生修士 (MPH: Master of Public Health)  
日本感染症学会専門医・指導医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医  
インфекションコントロールドクター (ICD)  
東京都病院薬剤師会 特別委員  
横浜市中区薬剤師会 特別顧問  
感染症総合誌「J-IDEO (ジェイ・イデオ)」編集委員